

携帯電話は必要か？

京都府・京都市立岡崎中学校 2年 木村 美咲

私は時々、携帯電話が欲しくて欲しくてたまらなくなります。なぜかという、学校のクラスの友達や、部活の後輩でさえも、みんなほとんど携帯電話を持っているからです。そして何より、携帯電話で友達と、電話やメールを好きなときにできることが、うらやましくてしょうがないからです。小学生みたいな理由ですが、携帯電話を持ったことがない私にとっては、友達の持っている携帯電話が、きらきらとまぶしく見えるほど、携帯電話が欲しくなってしまうのです。

私は、お父さんやお母さんに「携帯電話が欲しい!」と言っては、いつも「ダメ。今は必要がないでしょう?」と言われるという、この決まったパターンのくり返しです。しかし、よく考えてみると、私のお父さんやお母さんの言う通り、携帯電話はまだ、私には必要がないのかもしれない。

今、携帯電話によって、たくさん問題が起こっています。メールでイジメが発生してしまうことも、少なくはないはずです。メールは主に文字だけの会話です。そのため、相手の顔も見えなくて、本当の気持ちが伝わってこないと思います。携帯電話というのは便利な分、いろんなところで、不都合が起きてしまうのです。

もう一つ、大きな問題があります。それは「お金」です。携帯電話を使うためには、どうしても「お金」が必要になります。電話もメールも長くすれば長くするほど、「お金」をたくさん使ってしまう。

私は、自分で働いて「お金」を稼げません。なので、通話料を払うこともできません。それなのに、親に携帯電話が欲しいとねだるのは、おかしいのかもしれないと思いました。それに、私は一人でどこかへ出かけることも、それほどありません。特別、どうしても携帯電話を持たなければならないという訳でもないのです。せっかく父が頑張って働いて稼いでくれた「お金」を、携帯電話で無駄に使うのは良くないことだと思いました。

私は何度か、友達どうしで文房具などが売られているお店に行ったことがありました。その時、私は衝動買いで、いっぱいものを買ってしまいました。そして家に帰ると、買ったものと同じものがありました。いらなくなり、結局捨ててしまったものもありました。今思えば、「あんなもの、買わなければ

良かった……。」と後悔しました。「お金」も無駄遣いしてしまったと思います。

携帯電話も同じなのかもしれません。必要がないうちに買ったなら、「ああ、あの時は、まだ携帯を持つ必要がなかったのに……。」と後悔をしてしまうと思います。

これまで、私の考えについて話してきましたが、携帯電話の問題は、私のことばかりではありません。携帯電話のサイトでは、サイトを開いただけで、「お金」を支払うことになってしまったり、通話料以外で「お金」がかかることがあります。

そして、知らないうちに犯罪に巻き込まれたり、携帯電話を持っているかぎり、危険にさらされることになります。危険なことでも、「お金」はかかってしまうという訳です。このように、携帯電話には、数えきれないほどの問題がいっぱいあります。

でも、友達とすぐに連絡が取れる、メールをすることによって、楽しくコミュニケーションができるなどという、良い一面も、もちろんあります。それだから、携帯電話は危険であるということを知っていても、携帯電話が欲しくなってしまうのです。

私は、中学生の間は、携帯電話がどんなに欲しくなっても、ちゃんと我慢しようと思いました。

高校生になって、アルバイトができるようになってから、つまり、自分でしっかり「お金」が稼げるようになってから、買えるようだったら買おうと思っています。ただし、必要だったらです。高校生になっても、買う必要があったらです。必要がないのなら、携帯電話を買う意味が、まったくないので、買わないつもりです。親の「お金」はなるべく使わないで、アルバイトをして、その「お金」を使います。アルバイトは大変だと思うけれど、一生懸命働こうと思っています。働くことによって、「お金」の大切さを改めて知ることができると思います。もしも自分が働いたお金で携帯電話を買ったら、きっと信じられないくらいうれしいと思います。これからは、お金を大事に大事にして、使うときは良く考えてから使うようにしたいです。